

基本方針

試行的に基本方針を掲げ 1 年間の活動を進めることとした。依然として世界では戦争や紛争が後を絶たない。国籍、国家、民族、言語、宗教、文化などの相違に端を発したこうした争いは武力行使に至り、その影響を受けた立場の弱い人々が死傷し、国や地域を追われ、難民問題等が顕在化している。相違を認め合い話力による解決の必要性とその困難性を痛感する。こうした点に鑑み、改めて多様性の視点を留意しつつ 2022 年度鎌倉ユネスコ協会の活動を進めるものとした。

1. 識字・世界遺産保全支援委員会

・バザー開催の収益と支援先

- (1) かまくら国際交流フェスティバル：バザー参加 11/5(土)参加人数 25 名、売り上げ 90,000 円
- (2) NPO フェスティバル：バザー参加 12/10(土)参加人数 15 名、売り上げ 22,547 円
- (3) 深沢倉庫バザー、毎月第 2 日曜日開催：参加人数 244 名、売り上げ総計 933,674 円

支援先について：1. 文化遺産緊急支援：エリアナ・パブロバの顕彰碑をよみがえらせるに 10 万円寄付。

2. トルコ地震：トルコ大使館に 15 万円寄付。3. 識字支援：ブラジル・セラダカピバラに 12 万円。

4. コロナ禍による困難な団体支援：報徳食品支援センターへ 20 万円 (3/12)、ふらっとカフェへ 5 万円 (3/12)、アルペなんみんセンターへ 5 万円 (3/12)、日本ユネスコ協会連盟を通してアジア寺子屋運動支援へ 13 万円 (3/15)

(4) 書き損じハガキ収集による識字支援：会員・一般・学校・団体等の協力を得て集めた未使用ハガキを切手に交換しその他、切手・プリペイドカード等総額 322,119 円相当をアジアの識字支援のために日本ユネスコ協会連盟に寄託。

2. 青少年委員会

(1) 「絵で伝えよう！わたしたちの町のたからもの絵画展 2022～いつまでも住み続けられるまちであるために (SDGs)」

6 月各学校へ説明と作品依頼。9 月～11 月応募受付、12/3 審査会。応募作品は小、中学校合計 112 点。審査により鎌倉市長賞、鎌倉教育委員会賞、日本ユネスコ協会連盟会長賞、鎌倉ユネスコ協会会長賞と優秀賞 8 点を選考し、全応募作品を鎌倉生涯学習センター・ギャラリーにて 12/23～12/25 の 3 日間展示。応募者全員に参加賞として SDGs の目標をデザインしたクリアファイルを贈呈。

3. 国際交流委員会

(1) 料理を通して国際理解： 鎌倉市福祉センター 2F 調理室において、前半は 11/8 キューバ料理、講師はキューバ大使夫人。コロナ禍で参加人数制限し 16 名。後半は 3/16 アルジェリア料理、講師はアルジェリア大使夫人。参加人数 25 名。

(2) 難民問題勉強会：アルペなんみんセンターの漆原氏による講演他、オンラインで実施。10/16 参加人数 20 名

(3) 「平和の鐘を鳴らそう」オンラインで実施。清泉女子大学教授、山本達也会員による基調講演。12/3 参加人数 20 名。

4. 科学・環境委員会

(1) SDGs 委員会と連携し鎌倉の自然や歴史・文化について学び体験する活動を実施した。

4/23 (土) 春の植物観察会鎌倉広町緑地見学ツアー (ボランティアガイドによる案内)

8/3 (水) 横浜市埋蔵文化財センターにスタディツアー (解説：主任調査研究院鹿島保宏氏)

8/7 (日) 稲村ヶ崎の砂鉄を使った「たたら製鉄」の再現～郷土史から消えた鎌倉の製鉄文化の謎～

(ハイブリッド形式で実施・講師:元鎌倉高校化学会顧問、木浪信之氏)、12/3(土)秋の自然観察会～山崎台峯緑地における生態系保全(講師:台峯緑地保全会、川上克己氏)

5. コミュニケーション委員会

- (1) 会報発行：117号(7/1)、118号(1/1) 各800部、全会員、関係機関等に配布
- (2) 会報を中心とするホームページの更新

6. SDGs委員会

(1) SDGsみらい塾の開催

第4期SDGsみらい塾の開講に先立ち6/12(土)にキックオフシンポジウム「世界平和の危機～ユネスコ憲章の理念に立ち返って」を開催した。日本ユネスコ協会連盟理事長、鈴木佑司氏の基調報告、神奈川県弁護士会の高岡敏行会長、横浜国立大学の小林誉明准教授、今後出身のムエンゲ会員に人権問題を中心にパネルディスカッションをオンラインで実施。7/3～11/6まで全9回オンライン実施。

(2) 青年部の活動

北鎌倉ポケットパークにプランターを設置し、四季の花々を植栽した。

- (3) 科学・環境委員会との合同事業：10/4(火)に由比ガ浜海岸において鎌倉女子大中等部の生徒約50名参加してビーチコーミングを実施。それに先立ち、鎌倉女子大中等部において9/22(木)小林正典氏(笹川平和財団海洋制作研究所主任研究員)と小島政行氏(鎌倉ユネスコ協会副理事長)による事前学習を実施。

7. 組織及びその他の活動

(1) 組織による活動

- ・第34回定例総会を開催 6/25(土)鎌倉パークホテル、125名出席(内、書面参加93名)
- ・理事会開催：毎月第3日曜日開催(6月、8月、12月は休会)
- ・神奈川ユネスコ連絡協議会：県内のユネスコ協会との連携を目的に、横浜ユ協、厚木ユ協、鎌倉ユ協が構成員。理事会、総会には執行部中心に出席。
- ・日本ユネスコ運動全国大会：千葉県木更津市 11/19・・・欠席。
- ・中部東ブロックユネスコ活動研究会 in 飯田(長野県) 11/26 オンラインで参加。
- ・新年会 1/21(日)13時 鎌倉パークホテルにて開催。 60名参加

(2) その他に関する活動

鎌倉市国際交流協力団体連絡会に参加等、諸団体と連携し活動を展開。